

環境だより



環境課 ☎66♦1122

そーっと、のぞいて見て
ください

川へ遊びに行ったら、石を
ひっくり返して、そーっとの
ぞいてみてください。そこに
は、いろいろな生き物が隠れ
ています。

幻の虫を求めて

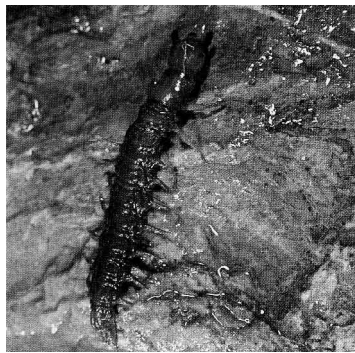
下の写真の虫を見て、大半
の人が「ウワー、なんだか気
持ち悪い」と思うのではない
でしょうか。しかし、これは
ヘビトンボという虫の幼虫(別
名「孫太郎虫」)で、ゲンジ
ボタルのすむ川よりもきれいな
所にだけすんでいます。市
内では西田川、落合川の上流
部で、運がよければ見つけら

小さな虫が教えてくれること

れる程度です。大きなあごで
他の虫をかみ砕いて食べるこ
とから、「溪流の猛者」の異
名もあります。が、体質はとて
もデリケートなのです。

きれいな川を守る

川が汚れると、きたない水
でも生きられるヒルなどが増
え、ヘビトンボ、ゲンジボタ
ルなどきれいな水にすむ生き
物たちはいなくなります。ヘ
ビトンボを本当の幻としない
ために、ごみを捨てたり汚い
水を流したりせずに、よい環
境を守っていききたいものです。



ヘビトンボの幼虫

川で水生生物調査をやってみ
たい方は、環境課までお気軽
にお問い合せください(でき
るだけ、10人以上のグループ
でお申し込みください)。

消防最前線

Journal
of
Fire
Department
119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

「火事だ!」「けが人だ!」
とくれば「早く119番を!」と、
119番は、今では老若男女の誰
もが知っている、おなじみの
番号ですね。でも、一体いつ
からこの番号が使われ始めた
のでしょうか。

大正6年、東京で火災報知
専用電話が制度化されました。
当時はまだ、電話交換手が「火
事」と通報があれば、すぐに
消防署につながるシステムで
した。そして大正15年、電話
が自動化されたのに伴い、火
災通報のための「112」の番号
が定められました。ダイヤル
時間が短くてすむ緊急番号と
いうことでしたが、まだダイ
ヤル式に不慣れなためか、間
違い電話も多くありました。

なぜ119番?

そこで、地域番号としてまだ
使われていなかった「9」を
使うことになり、昭和2年か
ら現在の「119番」になったの
です。

「この「119番」も、初めは、
火災通報専用のものでした。
しかし、昭和になって、自動
車による交通事故が頻繁に起
こるようになり、けが人も増
加しました。そうした状況か
ら、救急車の要請も「119番」
でできるようにしました。

「こうして、おなじみの火事・
救急・救助は「119番」という
かたちができあがりました。
くれぐれも緊急時には「110番」
と間違えないように、一呼吸
おいて落ち着いて通報するよ
うにしてくださいね。